

別紙1

令和元年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和元年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階			評 価	評 価 コ メ ン ト
			H30	R1	R2		
広島県	大竹市	マロンの里を元気にする協議会	○	●	□	B	2年目としての取組は進んでいるものの、現状では目標達成の結果がついてきていない状況と考える。最終年度の取組に期待したい。

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である 大竹地域産業振興センター 元センター長 正重 賢二 から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

大竹地域産業振興センター 元センター長 正重 賢二

【意見聴取の概要】

「マロンの里交流館の売上」、「事業を推進する協議会の事務員」、「給食センターへの農産物出荷量(販売額)」の目標について、達成状況及び取組状況の説明を行い、直接の売上に影響する新商品のPRや最終年度の料理開発や商品化を具体的に進めるよう意見をいただいた。